

都市再生整備計画 事後評価シート
西美園地区（案）

平成25年 9月

静岡県浜松市

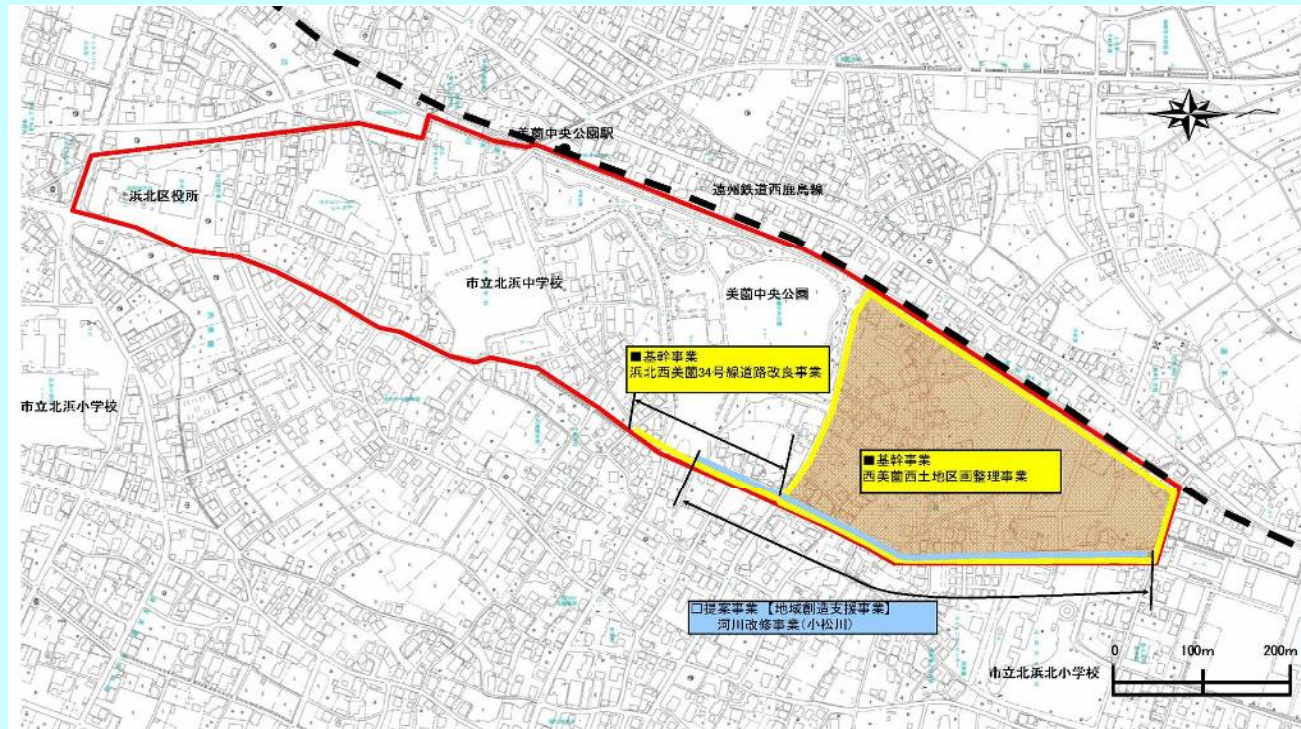
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	浜松市		地区名	西美園地区			面積	30ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	881.3百万円	国費率	0.400				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路事業(浜北西美園04号線)、土地区画整理事業(西美園西地区)									
			提案事業	地域創造支援事業(河川改修事業)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	なし									
提案事業			なし										
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	通学路整備率	%	10	H21	36	H25		36	○	あり なし	歩道付き道路の整備が計画通り円滑に行われたため、通学路の歩道の整備が進み、歩道整備率が向上した。	-
	指標2	増加宅地面積	m ²	42,000	H21	58,000	H25		64,500	○	あり なし	土地区画整理事業が順調に進んでおり、区域内の保留地や畑等についても円滑に宅地整備が進んだ。	-
	指標3	移動時間の短縮	分	6	H21	4	H25		4	○	あり なし	歩道付き道路の整備により、歩車道の分離や歩道の連続性が確保され、また小松川の改修により道路が拡幅されたことで、自動車の円滑な走行と歩行時の安全性が向上した。	-
指標4										あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	将来のまちの姿への期待度	%	なし	-			95.2			土地区画整理事業により都市基盤整備を一体的に行ったことで、生活利便性及び居住環境の向上、都市防災機能の向上など、地区の課題に効率的に対応できたことが、将来のまちの姿への高い期待度に繋がったと推察される。	-	
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 歩道付き道路の連続性が確保されたことにより、浜北区役所、遠州鉄道美園中央公園駅、美園中央公園等へ安全、快適に徒歩で移動できるようになった。 歩道付き道路を整備することにより近隣の北浜小学校、北浜北小学校、北浜中学校、浜名高等学校への通学の安全性が向上した。 土地区画整理事業により幅員6m以上の道路を整備したことで、緊急車両の進入が容易になり、また、災害時の火災の延焼防止や震災時の被害拡散の抑制効果が確保され、地区の安全性・防災性の向上が図られた。 西美園西土地区画整理事業による基盤整備に加え、地区計画の導入により、浜北区の拠点周辺地区にふさわしい緑豊かで美しいまちの形成が図られている。 												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

西美蘭地区(静岡県浜松市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
安心で快適なまちづくりによる地区の活性化 快適な住環境整備と土地利用の効率化を促進し、人口定着を図る。 地域住民や通学者の安全性の向上と利便性の確保により、魅力あるまちづくりを創出する。	通学路整備率	単位: %	10	H21	36	H25	36	H25
	増加宅地面積	単位: m ²	42,000	H21	58,000	H25	64,500	H25
	移動時間の短縮	単位: 分	6	H21	4	H25	4	H25



●道路事業(浜北西美蘭34号線)



整備前

整備後

・歩道付き道路の整備により地区内や地区周辺の主な施設への徒歩での移動の安全性が向上した。

●西美蘭西土地区画整理事業



整備後

整備後

・地区内に幅員6m以上の道路が増えたことで、緊急車両がスムーズに通行できるようになった。
 ・未利用地の宅地化が進み、住宅が増加した。

●河川改修事業(小松川)



改修前

改修後(矢印箇所)

・小松川の改修により大雨の浸水被害に対する地区の安全性が向上した。

まちの課題の変化

- ・道路整備により地区内の公共交通機関や主要な公共施設へのアクセス性が向上し、施設利用の利便性の確保が図られた。
- ・歩道整備により歩行空間のネットワークの形成が促進され、地区内を徒歩で安全に移動することができるようになった。
- ・西美蘭西土地区画整理事業の順調な施行及び健全な組合運営を行うための円滑な保留地処分により、計画通り事業が完了する見通しである。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・快適な道路空間を維持するために、道路の美化活動の推進・路面の劣化や破損箇所への早期対応など、維持管理対策の充実を図る。
- ・歩行者の通行の安全性確保のために、交通安全ルールの遵守・マナー向上の啓蒙などのソフト対策を推進する。